長崎市立大園小学校学校だより

「できた！」

令和５年１２月２２日

No.４５

文責　校長　木下和敏

第２学期終業式を迎えました

９月１日からスタートした２学期は、授業日数７７日間でした。インフルエンザの流行により、途中お休みが多い学級もありましたが、学級閉鎖をすることもなく、２学期の終業式を迎えることができました。振り返ると暑い夏から寒い冬になったような年で、秋が本当に短かったように感じます。明日からは冬休みとなります。今年の冬休みは少し長めの１７日間となります。子どもたちにとっては、楽しみにしていることがたくさんある冬休みだと思いますが、家族の一員としてお手伝いなど自分の役割をしっかりと果たしてほしいと思います。

来年の干支は甲辰（きのえたつ）です。甲辰には「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という縁起の良さを表しているそうです。新たな年を御家族皆様で楽しくお迎えください。２学期も大変、お世話になりました。

【２学期終業式校長講話（一部抜粋）】

一年のうちで最も長い、実りの２学期が今日で終わります。２学期を振り返った時、みなさんはどんなことを思い起こすでしょうか。

２学期はそれぞれの学年で行事や体験活動がたくさんあった学期でした。１年生は大園幼稚園・滑石保育園の年長さんとの交流会を行い、生活科で作ったおもちゃなどで楽しんでもらいました。２年生は何度も町探検に出掛け、自分たちが住む大園小学校区の良さを調べました。３年生は消防署や警察署等に社会科見学に行き、生活を守る仕組みについて学びました。４年生は小音会に出場し、たくさんの人の前で見事な合奏を披露しました。５年生は宿泊学習に行き、飯盒炊飯をしたり星空観察をしたりしました。そして６年生は修学旅行で熊本を訪れ、阿蘇の自然の素晴らしさを肌で感じました。たくさんの貴重な体験が詰まった２学期になったと思います。学びの後に大切なのは「振り返り」です。自分が見つけたことや感じたことなどをしっかりと整理することで、体験したことが、経験として積み重なり、記憶としてしっかりと残るのです。

２学期の始業式で、私は「みなさんに考えてほしいこと」を話しました。みなさんに考えてほしいと話したのは「はさみ歩き１００％の大園小学校にしましょう。」ということです。「はさみ歩き」の「は」は「はしらない」。「さ」は「さわがない」。最後の「み」は「右側を歩く」ですね。このことについて、しっかりと考え、話し合ってくれた学級もあり、とてもうれしく思いました。「はさみ歩き１００％の自分」になれたかどうか、毎日の生活の中でどんなことを心掛けたか、自分の行動に現れたか等々、一人一人の心の中で、振り返ってみてください。

今日は「挑戦」と「変身」の話をしたいと思います。アメリカの大リーグで活躍している大谷翔平選手は、今年、エンゼルスからドジャースにチームが変わりました。記者会見の場で「常に挑戦したい。ドジャースに決めたこともチャレンジ。」大谷選手は２０１２年の高校３年生の時に「メジャーへの挑戦」を表明し、２０１７年にエンゼルスに入団する時も、メジャーリーグでの二刀流で投打同時出場するなど挑戦をし続けました。今年はホームラン王となり、二度目の最優秀選手賞など多数の賞をとる結果となりました。挑戦することは、自分自身の力を高め、よりよく変身させることにつながります。つまり、変身するためには、しっかりと目標を持ち、日々、努力を積み重ねていくことが大切なのだと思います。

みなさんは、この後の学級活動の時間に、担任の先生から通知表「おおぞの」をいただきます。一人一人の良いところや努力を積み重ねたところ、続けて頑張ってほしいところを、励ましの気持ちをもって書いてくださっています。しっかりと受け止め、３学期に挑戦することや変身したい自分の姿をイメージし、頑張りにつなげていってください。

新年を迎えるにあたり、年末には大掃除をして家の中や身の回りをきれいにしてお正月を迎えます。これを「すすはらい」と言います。１年間蓄積した自宅のホコリなどを落として、お正月の神様である歳神様を迎えるために家の中をきれいにして清めるという意味があります。みなさんの家でもきっとおうちの方がお掃除などで忙しくすると思います。自分ができるお手伝いに取り組み、家族の一員としての役割を果たしましょう。明日から１７日間の冬休みに入ります。３学期の始業式は１月９日です。安全と健康に気を付けてよい年を迎えてください。１月９日に笑顔いっぱいに会えることを楽しみにしています。